

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公開番号】特開2010-248403(P2010-248403A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2009-100680(P2009-100680)

【国際特許分類】

C 08 L 77/00 (2006.01)

C 08 K 7/04 (2006.01)

C 08 K 3/30 (2006.01)

C 08 G 69/02 (2006.01)

【F I】

C 08 L 77/00

C 08 K 7/04

C 08 K 3/30

C 08 G 69/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月14日(2011.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) ヘキサメチレンジアミンとアジピン酸から得られるヘキサメチレンアジパミド単位(N66)70~85質量%と、ヘキサメチレンジアミンとイソフタル酸から得られるヘキサメチレンイソフタルアミド単位(N6I)及びカプロアミド単位(N6)の繰返し構造単位15~30質量%と、からなる3元共重合体であり、前記ヘキサメチレンイソフタルアミド単位と前記カプロアミド単位との配合質量比(N61/N6)が1.0以上である、共重合ポリアミド樹脂と、

(B) 含有する窒素原子数に対する炭素原子数の比(C/N)が7以上12以下であり、アミノカルボン酸及び/又はジアミンとジカルボン酸の組み合わせから得られ、かつ、JIS K 6810に準じた98%硫酸中濃度1%、25で測定された相対粘度(r)が2.0~2.5である、脂肪族ポリアミド樹脂(但し、ポリアミド610を除く)と、

(C) ガラス纖維と、を含み、

前記(A)成分と前記(B)成分の質量比(A/B)が40/60~60/40であり、

前記(A)成分と前記(B)成分との合計100質量部に対して、前記(C)成分20~250質量部を含む、ポリアミド樹脂組成物。

【請求項2】

前記(B)成分が、ポリアミド612又はポリアミド12である、請求項1に記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項3】

前記(B)成分が、ポリアミド612である、請求項1に記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項 4】

(D) 前記(A)成分の構造単位と、前記(B)成分の構造単位と、からなる4元共重合体を、更に含む、請求項1～3のいずれか一項に記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項 5】

前記(B)成分が、ポリアミド612であり、

前記(D)成分が、N66、N6I、N6及びポリアミド612単位からなる4元共重合体である、請求項4に記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項 6】

硫化亜鉛を、更に含む、請求項1～5のいずれかに一項に記載のポリアミド樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項1～6のいずれかに一項に記載のポリアミド樹脂組成物からなる成型体。